

## 令和5年度 後志森林室立木販売重点目標

後志 森林室

### 1 資源や技術力を活用した地域貢献

造材作業における労働安全性の向上と低コスト化のため、間伐は列状又は幅状で実施する。

また、地域の需要に応じた原木の安定供給や林業事業体の計画的な雇用の確保を図るため、地域の素材生産を担う林業事業体の育成を目的とした長期安定供給販売を実施するとともに、昨年協定を締結した伐採・造林複合協定型森林整備事業を実施する。

### 2 木質バイオマス燃料材の安定供給

台風等による風倒被害木の整理や林道・施業道沿いのかぶり木などの低質材を積極的に販売するほか、林地未利用材の発生状況を公表するなど、木質バイオマス原料の安定供給に努める。

### 3 販売目標量

(販売目標量について、上記取組に基づき記載する)

(記載例)

(1) 総販売量

30,500 m<sup>3</sup>

○一般競争入札

10,700 m<sup>3</sup>

○うち「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)

m<sup>3</sup>

○協定販売

m<sup>3</sup> (うち新規 m<sup>3</sup>)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>

○長期安定供給販売

3,700 m<sup>3</sup> (うち新規 m<sup>3</sup>)

○伐採造林複合協定型森林整備事業

6,000 m<sup>3</sup> (うち新規 m<sup>3</sup>)

○その他販売

10,100 m<sup>3</sup>

(2) オープンカウンター販売

1 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。